

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間の学習過程のイメージ

日常生活や社会に目を向け、児童生徒が自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。
①課題の把握 ②情報の収集
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

日常生活や社会に目を向け、児童生徒が自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。
①課題の把握 ②情報の収集
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

| | 課題の設定 | 情報の収集 | 整理・分析 |
|---|---|--|--|
| <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">中学校</div> <div style="font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↑</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">小学校</div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ■複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する ■仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する | <ul style="list-style-type: none"> ■目的に応じて手段を選択し、情報を収集する ■必要な情報を収集し、多角的に分析する | <ul style="list-style-type: none"> ■複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えを持つ ■視点を定めて多様な情報を分析する ■課題解決を目指して、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■問題状況の中から課題を発見し設定する ■解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる | <ul style="list-style-type: none"> ■手段を選択し、情報を収集する ■必要な情報を収集し分析する | <ul style="list-style-type: none"> ■問題状況における事実や関係を把握し理解する ■多様な情報の中にある特徴を見つける ■課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ■相手や目的、意図に応じて論理的に表現する ■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ■相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現する ■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする |

(参考資料) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)別添資料

総合的な学習の時間の問題発見・解決の過程でのクラウド活用

日常生活や社会に目を向け、児童生徒が自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。
①課題の把握 ②情報の収集
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

日常生活や社会に目を向け、児童生徒が自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。
①課題の把握 ②情報の収集
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

| | 課題の設定 | 情報の収集 | 整理・分析 |
|---|--|---|--|
| <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">中学校</div> <div style="font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↑</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">小学校</div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の心を揺さぶる事実との出会いの場面を設ける ・遠隔会議システムを使い、遠方の方も講演できるようにする ・講演中の質問や感想のやり取りなど、問いをもつきっかけとなる意見をリアルタイムで共有する | <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決のための情報を収集する ・遠隔会議システムを使い、遠方の方と会話やデータのやり取りをする ・クラウド上でアンケートを実施する ・直接体験で感じたことを、すぐに画像やテキストで記録する | <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に迫る納得解を導く ・データをクラウドで共有し、いつでも誰でも使用できるようにする ・複数のデータをモニターに写して比較したり関連付けたりし、視点を定めて分析する ・納得解をクラウドで共有し、意見を述べ合う |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ○相手意識をもち、相手に伝わるようにまとめ・表現する ・スライド、内容、姿勢、目線など、作成の観点を設ける ・作成の観点を評価の観点とし、中間報告する ・校内や保護者などへの直接発表に加え、遠隔会議システムを用いて遠方の方へも発信する |

小学校5年 地域に眠る8mmフィルムを使って、 過去・現在・未来をつなぐ映画をつくろう

見方・考え方：実生活・実社会の課題を探究し、自らの生き方を問い続けること
ICTの活用：映像等を繰り返し再生し、場面にふさわしい効果音を何度も手軽に試すこと
学習場面：当時の様子をより印象的に表現するための効果音を作成する

課題の設定 8mmフィルムの映像を音声が入っているものと入っていないもので見比べ、音声が入っていないと映像に映るものや当時の出来事の雰囲気が伝わりにくいことに気付く。そこで、地域の方から提供していただいた8mmフィルムに自分たちで効果音をつけ、当時の様子を再現することで地域の方に喜んでもらいたいという願いをもつ。



情報の収集 8mmフィルムを使って撮影された手作り映画を全員で視聴し、映像に映る当時の様子を表現するためには、地域の方にどんなことを聞けばよさそうかグループ毎に考える。（本事例では、直接地域の方と対面してインタビューすることを大事にしているが、Web会議システム等でインタビューを行ったり、クラウドアンケート機能で情報を集めたりすることなども考えられる。）



情報の収集／整理・分析 クラウド上にある8mmフィルムの動画の見たい場面を繰り返し見ながら、地域の方から聞き取ったことをもとに、当時の様子を表すための効果音をつくる。



まとめ・表現 身の回りのものを使って作った効果音を、8mmフィルムの動画に合わせて鳴らし、端末で録画・録音して、自分たちが表したいことを表現することができているか確かめる。

この事例のポイント

- ・何度も、手軽に、納得するまで編集することができるため、一人一人が探究の過程を発展的に繰り返しながら納得解を導き出そうとしている。
- ・アナログの音を即座に録音、加工することで、願う音に近づけることができる。
- ・課題解決のために児童が自分でICTツールの使い方を選択し、探究的な学習の過程で必要に応じて活用している。